

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-191753

(43)公開日 平成6年(1994)7月12日

(51)Int. Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
B 6 6 B 3/00	K	7633-3F		
	Z	7633-3F		
1/46	A			

審査請求 未請求 請求項の数3(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-345965

(22)出願日 平成4年(1992)12月25日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 宗形 三男

茨城県勝田市市毛1070番地 株式会社日立

製作所水戸工場内

(74)代理人 弁理士 小川 勝男

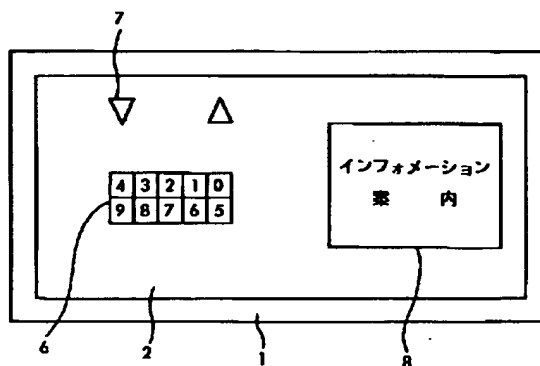
(54)【発明の名称】 エレベータ操作盤

(57)【要約】

【構成】指タッチ式タッチパネルにより構成したエレベータ操作盤1において階床表示選択ボタンを押すことにより、行き先階に応じた案内表示切り替えを可能にする。

【効果】乗客へのサービス性が向上する。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項1】複数階床をサービスするエレベータの乗りかご内又は乗り場に設けた、X方向及びY方向の検出器を有する指タッチ式のタッチパネルにより構成したエレベータ操作盤において、前記タッチパネルのディスプレイ上に複数の行き先階選択用の表示を行うことを特徴とするエレベータ操作盤。

【請求項2】請求項1において、前記タッチパネルのディスプレイ上で複数の行き先階選択用の表示にタッチすることにより、行き先階の呼び登録ができるエレベータ操作盤。

【請求項3】請求項1において、前記タッチパネルのディスプレイ上で複数の行き先階案内を表示する手段を持つエレベータ操作盤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は指タッチ式タッチパネルに係り、行き先階選択ボタンと行き先階に応じた案内表示を設けた乗客の利用に好適なエレベータ操作盤に関する。

【0002】

【従来の技術】エレベータの操作盤は押しボタン式が一般に用いられているが、押しボタン式は押しボタンを押すことにより、内部の接点が開閉し、信号を出していたため、押しボタンと固定枠間に塵埃が付着して接触が悪くなり、しゅう動摩擦により経年的にがたが増大し、傾きの増大により接触が悪くなることも発生した。また、ボタンを押したことを登録する応答灯を内蔵するため、操作盤の厚みは70～80mmと厚く、かごからはみ出して昇降路内に突出するので、昇降路内の利用率が悪くなる等の欠点があった。

【0003】これらの問題点を解決するための一案として、特開昭62-88788号に示されるように押しボタン相当部をタッチパネルとし、呼び登録用応答灯に発光素子をタッチ部周辺に配置するという方式がとられていた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記従来技術は、デパートや複数のテナントが入るショッピングビルにおいて各階の売場やテナントが、複雑化する場合に乗客に対する考慮がされておらず、サービス性の点で問題があった。

【0005】本発明の目的は、複雑化する利用状況にある建築物でもエレベータ操作盤の操作性及びサービス性を向上させることにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するために、指タッチ式タッチパネルにより構成したエレベータ操作盤において、タッチパネルディスプレイ

上の表示を行き先階選択用の表示と専用のインフォメーション案内表示により操作された行き先階に応じた案内表示の切り替え表示を行う。

【0007】

【作用】本発明は操作盤を指タッチ式タッチパネルとし、行き先階選択ボタンの操作に対応した案内表示をすることにより、乗客へのサービス性が向上する。

【0008】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面により説明する。

【0009】図1はエレベータかご内又は乗り場に設置した操作盤1を示す。操作盤1にはタッチパネル兼ディスプレイ装置2を設置する。タッチパネル兼ディスプレイ装置2には行き先階選択ボタン表示6、エレベータ方向表示7とインフォメーション表示部8を表示する。

【0010】図2はタッチパネル兼ディスプレイ装置2の詳細図で、X方向検出器3とY方向検出器4から成る導体5によって構成されている。

【0011】次に動作について説明する。乗客がエレベータに乗り、操作盤1のタッチパネル兼ディスプレイ部2の行き先階選択ボタンの表示を自分のいきたい階床名にタッチすることにより、X、Y方向検出器3、4の導体5が接触し、交点を検出して行き先階が登録される。行き先階の登録により、行き先階選択ボタン表示6の色を変えると同時にその階床の売場やテナントの案内表示8をする。かごが行き先階に到着すると登録が消去され、行き先階選択ボタン表示6の色を元の色に戻すと同時に案内表示を一般案内表示に切り替え時刻表示や、天気予報などの表示をする。

【0012】また、地震や火災などの非常時には、震度の情報や、火災時の避難経路を、インフォメーション表示部8に表示することにより、更に、乗客への安全性、サービス性を高めることができる。

【0013】

【発明の効果】本発明によれば、行き先階選択ボタンに応じた案内を切り替え表示する事により、複数のテナントが入るビルでも、きめ細かな案内表示ができる操作盤を提供できるので、サービス性が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すタッチパネル兼ディスプレイ方式エレベータ操作盤の正面図。

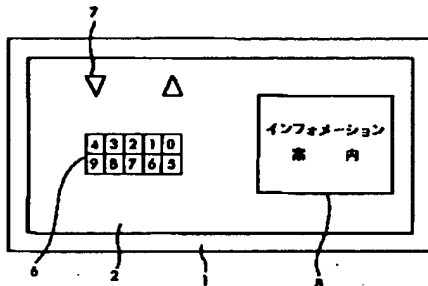
【図2】タッチパネルを応用したエレベータ操作盤の構成を示す説明図。

【符号の説明】

1…操作盤、2…タッチパネル兼ディスプレイ装置、3…X方向検出器、4…Y方向検出器、5…導体、6…行き先階選択ボタン表示、7…エレベータ方向表示、8…インフォメーション表示。

【図1】

図 1



【図2】

図 2

